

21世紀究極のクルマ改造本!

G-works

ジーワークス

# G-ワ<sup>ー</sup>クス

特集

セレクトラ

8トライアル  
デスピをバラす!

2011

4

定価 580円



旧車ホイール  
マッチング  
WORK

シリーズ2

今買える  
おNEWパーツ

CUSCO編



ロッキーオート

石川編集長の  
乗ってみなきゃ  
わかんねーゾ

L20 ハコスカ  
快速化計画

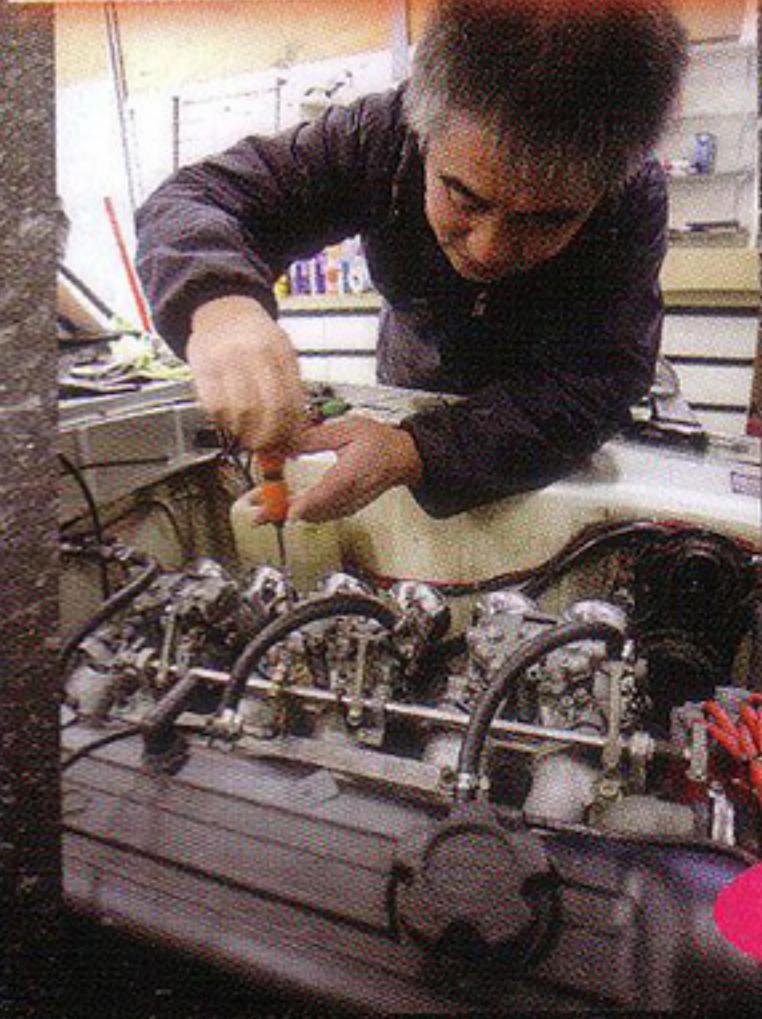
カラーページ化!



テックアート

パドルシフト

NEO6 S30+RB25



# 愛知・ロッキーオート 昭和47年式フェアレディZ HS30改



コレがパドルシフト



↑ステアリングの奥に付いているのがパドルシフト。左側がシフトアップ、右側がシフトダウンだ。←ATセレクターをドライブレンジから左側にシフトレバーを動かし、コンソールにあるパドルシフト可動スイッチをONになると、パドルシフトでATを任意に変速できるようになる

RB25に組み合わされるのはAT。よく見るとメーターやコラム、ATレバー等もステージアのモノがそのまま移植されているが、取って付けたような違和感は全くない。メカの向井田さんも「何気なく付いているように見せるのに苦労しました」と話すが、ホント、良くできていると思う



やべえ〜(汗)

らしい音。  
早速、Dレンジにして足をアクセルに当てていくと…このNEO6、NAではなくターボだけレスポンスがいい!!ギヤ比が低速寄りというのもあるけど、1速から2速、そして3速とトルクがありしかも吹け上がりも抜群!!下手なGT-R、R32よりも俊敏に動き、かつエンジンの伸びもいい感じで速い!!

ステージアだとちょっと物足りなさを感じたことがあるけど、やはり車体の軽さはかなりスポーティーに変身させていたのだ!!

入ってしてのを確認して、エンジン始動。基本的にエンジンはノーマルで（と云つても280psのトルク35キロ！）はあるが、製作されたマフラーからは元気いい音が聞こえてくる。レメカとまではいかないが、いかにもチューニングカー

ATセレクターがPレンジに  
うつぶゆき運転ノドエゾ

やべえー(汗)  
ちよー速いじゃん!!

The image shows the interior of a car from a front-three-quarter perspective. Two black Recaro bucket seats are visible, featuring the brand name "RECARO" embossed in gold on the headrests. The seats are integrated into a dark dashboard and door panels. A gear shifter is visible in the lower-left foreground. The background through the windows shows a bright, outdoor environment.

室内は極力240℃の雰囲気を壊さないように配慮している。シートもブラックのレカ口SR3に。モモのステアリング前にパドル



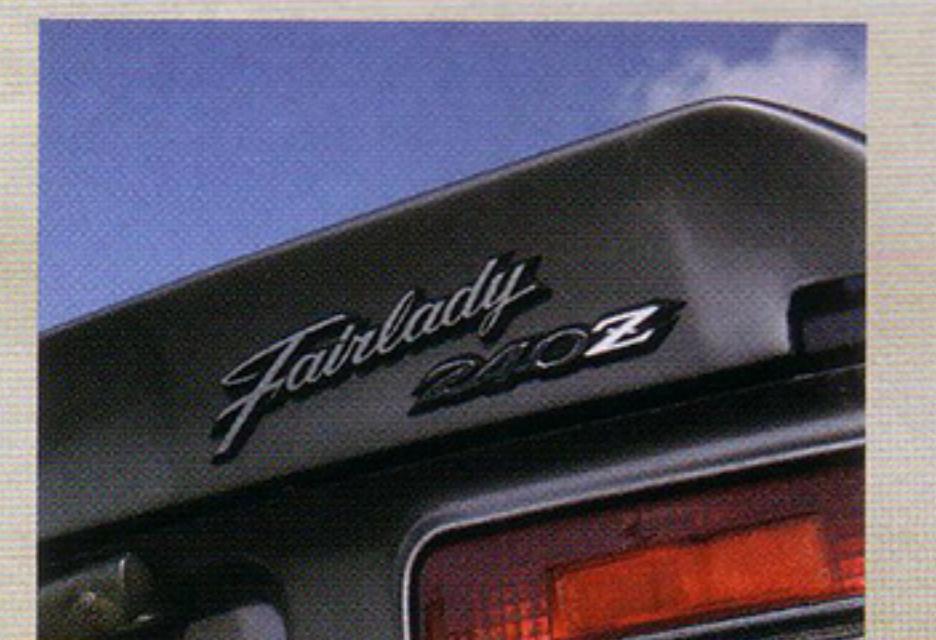
カッコ良く、速くなくてはならないチューニング  
カー。その姿を見ればカッコ良さはすぐに分かる  
けど、速さはエンジンの作りやパーツ選択、スペック  
などで想像するしかない…それだけではイマイチ  
納得できない貴方へ、じゃ、乗ってみるか!!  
というノリで始まった”石川編集長の乗ってみな  
きやわかんねーゾ”コーナー、ホント久しぶりの  
今回 NEO6inHS30 に乗ってきました

# NEO6 RB25 ロジキーオート HS30+RB25 の実力は!?

# WC34ステージアの NEO6を使用する



今どきのチュードラーのような太い一本出しのステンレスマフラー。240Z という拘りはそのあたりにはない



リヤスポイラーに輝く車名と240Z。ホンモノ、ニセモノ論議はしたくはないけど、HS30をベースに使うのはやっぱり凄い

石川編集長の  
乗ってみなきや  
わかなねーぞ!  
愛知・ロッキーオート  
昭和47年式フェアレディZ HS30改

# Making by ROCKY AUTO



SIDE

横から見るとそれは240Z、そのもの。低くされた車高、Gノーズ、オーバーフェンダーとリアスポ、そして240Z特有のカラーである、バンパーやワイパーなど。最新のホイールTE37Vもとてもよく似合う



↑FRONT  
↓REAR



もう説明の要らないくらいの面構えのフロント。冷却性向上のため導風板は取り除いているが、それらの部品はホンモノ。ライトカバーのみ社外品。リヤビューも240Zらしい雰囲気。オーバーフェンダーギリギリにオフセットされたホイールタイヤが、Z特有のマッショ感を醸し出す

それにしても完成度が高い。エンジンを他車種のモノに載せ替えたクルマは少なからず違和感があった。しかし技術の進歩と長年のノウハウでそれはもう無いと言つていい。S30や240Zは欲しいけど、古い機械的に壊れそうだし…やっぱり今どきの道路は快適に走りたい…という人にとって、新車で魅力的なクルマがない場合、今回試乗したNEO 6 in 240Zパドルシフトは選択肢の一つとなってしまつたら確実に欲しくなってしまう

は思えない、しっかりと感がドライバーに伝わってくる。だけど、足のセッティングがまだ出ていないらしくて、ちょっと固め。よってそのボディの硬さがまだトラクション性能に生かされてない部分と、ブレーキがロックしやすい。ま、これは乗つていて、スプリングやダンパーを見直せば直る部分だから問題ないけどね。

リッター&テンロッククラスの身のことなしもできる!!

アクセルを踏み込むとビュンビ

ュン加速!!こりや面白い♪

24ノ

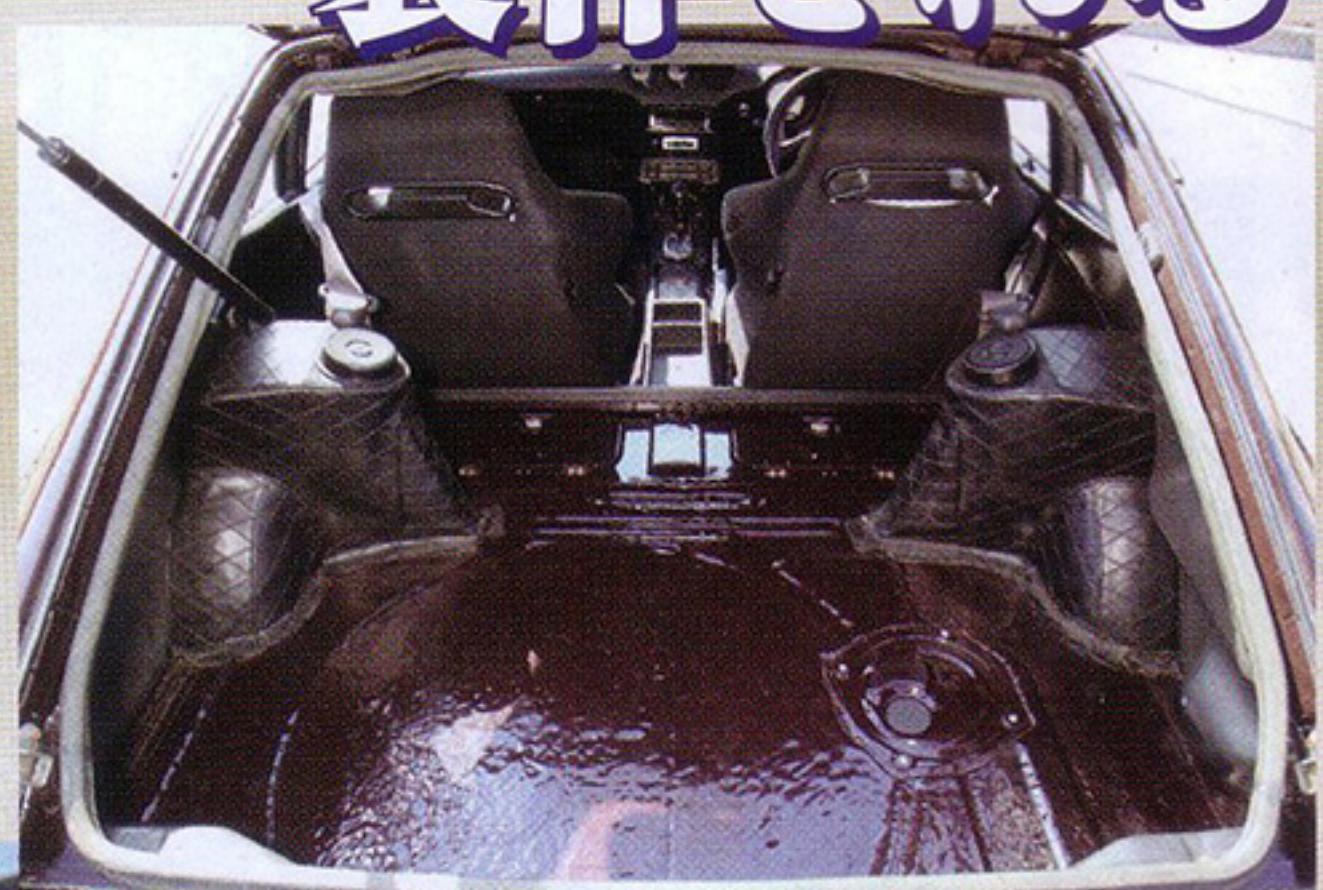
ーマルとはもちろん雲泥の差、若返ったアスリート的速さ。運転も快適そのもので、空調はもちろん、オートライトやA/T、そして電動パワステも装備しているから、旧車に乗るのに躊躇している人たちのマイナス面はほぼ

クリアされているのだ。

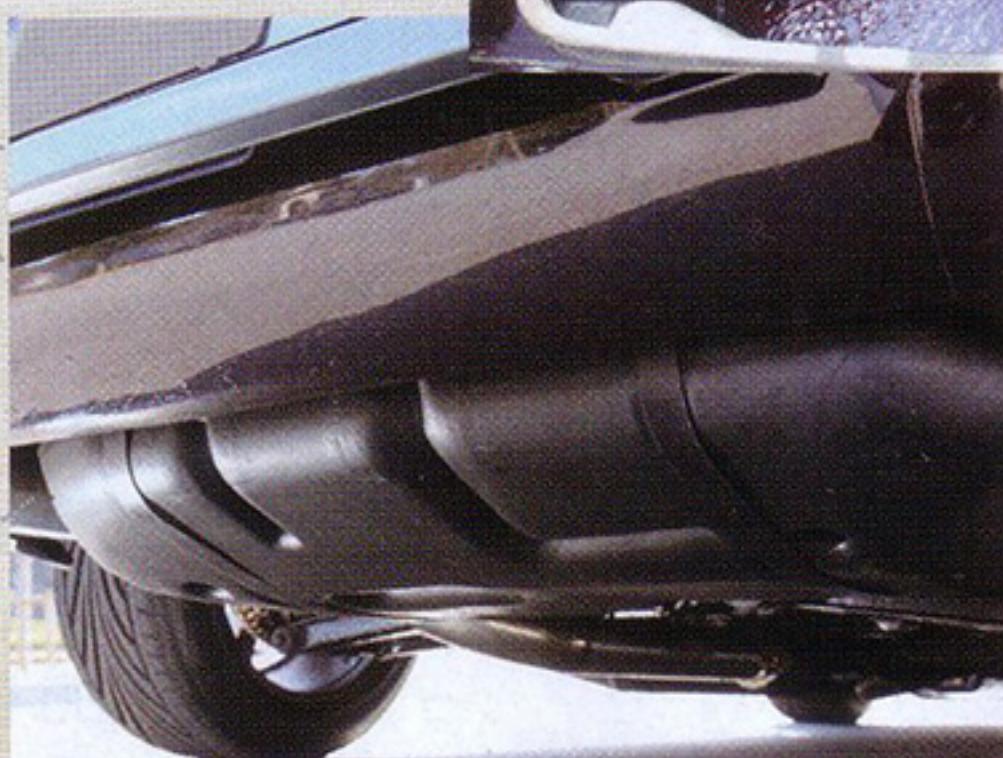
これだけ速ければ、止まる方も心配になってくるけどブレーキはマスター・シリンドラー&マスター・バッケもS14に交換してあるので、バランスも良く効きもいい。フルレストアされてしかも各部

を補強したボディはとてもS30と

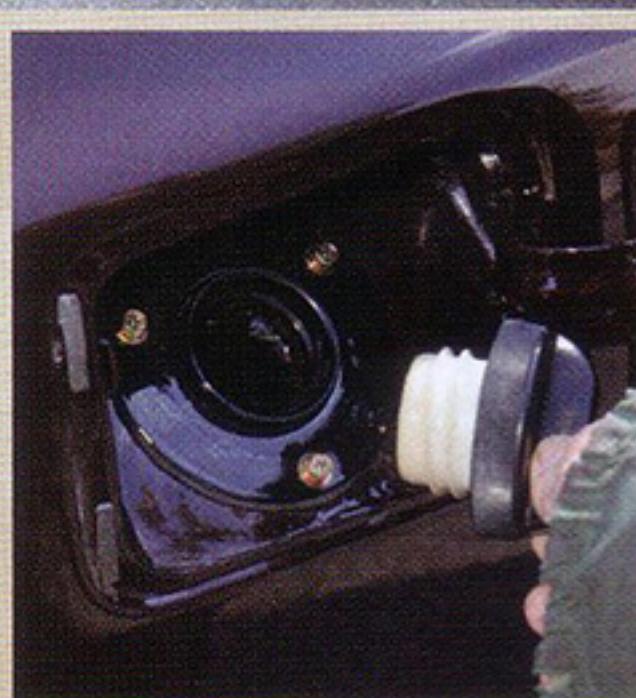
細部も考えられて製作される



オリジナルを尊重されて作られているロッキーオートHS30改。しかし各部に現代の技術、パーツを用いている。例えば燃料タンク。樹脂製なのでサビを大幅に加工し、フラット化しつつ下側にはフレームを増設。燃料ポンプもさりげなく取り付けて、ステージアの燃料タンクを移植。樹脂製なのでサビの心配もないし、軽く、容量も増える。このようにユーザーにとってメリットのある上、見えない部分にも気を遣っているのだ



↑よく見ると樹脂製だという事が分かる、燃料タンク。オリジナルっぽく取り付けるのは相当手間が掛かる。→燃料キャップもステージア用樹脂製を加工取り付け。なので、軽く閉められるし密閉性も高い



取材協力 ロッキーオート



新開発のロアアームバーツの設計図の前で今後の展開を話してくれた、ロッキーオート渡辺社長

今回使用したパドルシフトを搭載したフェアレディZはもちろん、RB20、RB25、RB26エンジンを搭載したZ、ハコスカからフルオリジナルのハコスカGT-RやケンメリGT-Rなど旧車なら殆ど揃ってしまうロッキーオート。しかも程度の良いモノが全国から集まつてくるのだ。在庫車はショールームの横の展示コーナーから第一、第二まであると言うからきっと見つかるはずだ

愛知県岡崎市明大寺町 TEL0564-58-7080

本邦  
初公開!

# 捷 破 車 ド の リ!

東京オートサロン2011  
コンセプトカー部門  
優秀賞受賞  
ロッキー・オート作  
240ZGパドルシフト  
(昭和46年式)



## ドリツたぞおお~!



RB25DET搭載  
オートマ(パドルシフトつき)  
エアコン&パワステ完備

この値段、  
先に見てたら  
借りないつよお~!

よくあんなに  
激しく乗れたねえ~!

知らぬが仏とは  
まさにこのこと!

エアコン パワステ

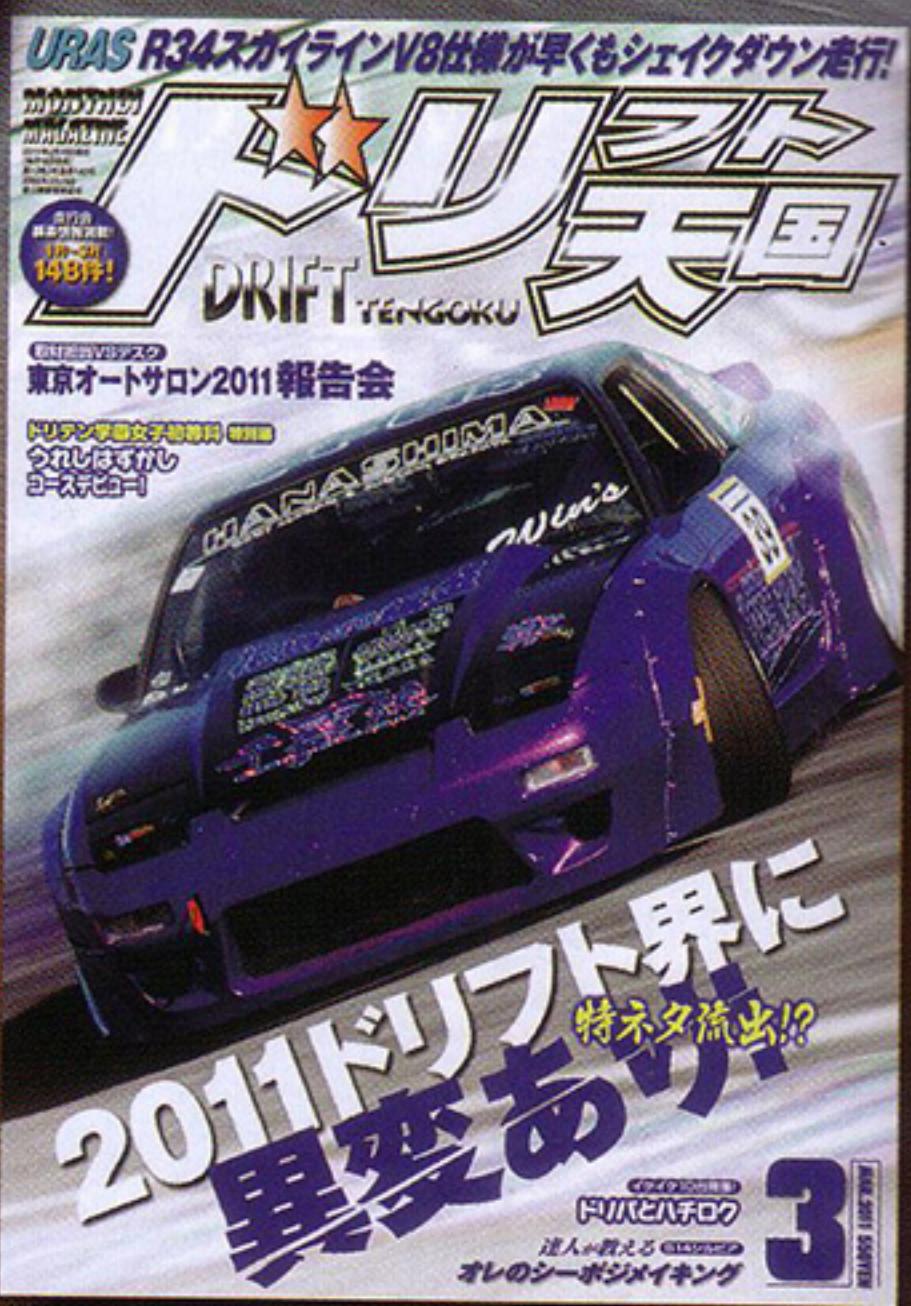
車両本体 12,900,000  
税込価格 13,545,000

Rocky Auto

DRIFT TENGOKU  
公式ブログ  
ケータイからアクセスOK!



3月号  
定価550円



DRIFT TENGOKU

# 絶賛発売中!

三栄書房

〒160-8547 東京都新宿区本塙町19 ☎03-5369-5112 http://www.sun-a.com

※書店に品切れの際は送料を添えて上記販売部宛に直接ご注文下さい。

※内容は予告なく変更する場合があります。

# ロッキーオート



スーパー・チャージャー搭載は初  
試み。だから、想像以上に乗りやすくて、トルクとパワーも激しくなりました。最高のS30になりました。



## S30 フェアレディZ

TE37Vをツライチで決める赤/カーボンのボディ。ドアノブをスムージングした電動ドアオープナーがカッコイイ。ボンネットを開けると顔を出します、フルチューン3.1ℓ。イートン製スーパー・チャージャーで軽くブーストを掛けるだけで、高圧縮エンジンは下から猛烈な加速！インジェクション&ダイレクトイグニッションを、モーテックでコントロールしているぞ



元日産ワークスドライバーの都平健二選手が駆ったTSサニーが、5年ぶりに復活。ピットロードの手によるチューニングと、リストアードのファイバーワークで、A14は160psを発生。車重も765kgと超軽量だ！



リヤハッチ内のアルミパネルを開けると、ATL製の安全燃料タンクやバッテリーBOXが顔を出す。まさにレースで勝つための作り込みだ

旧車用FRPボディパーツで定番のリストアードと、サニー&A型エンジンのチューニングが大得意のピットロード。今回復活した310サニー22号車は、これから各地のイベントで見ることが出来るハズだ！

# リストアード



## B310サニー

A14改1508ccに4520度のカムを搭載。ウエーバー45のレース用タコ足で武装する

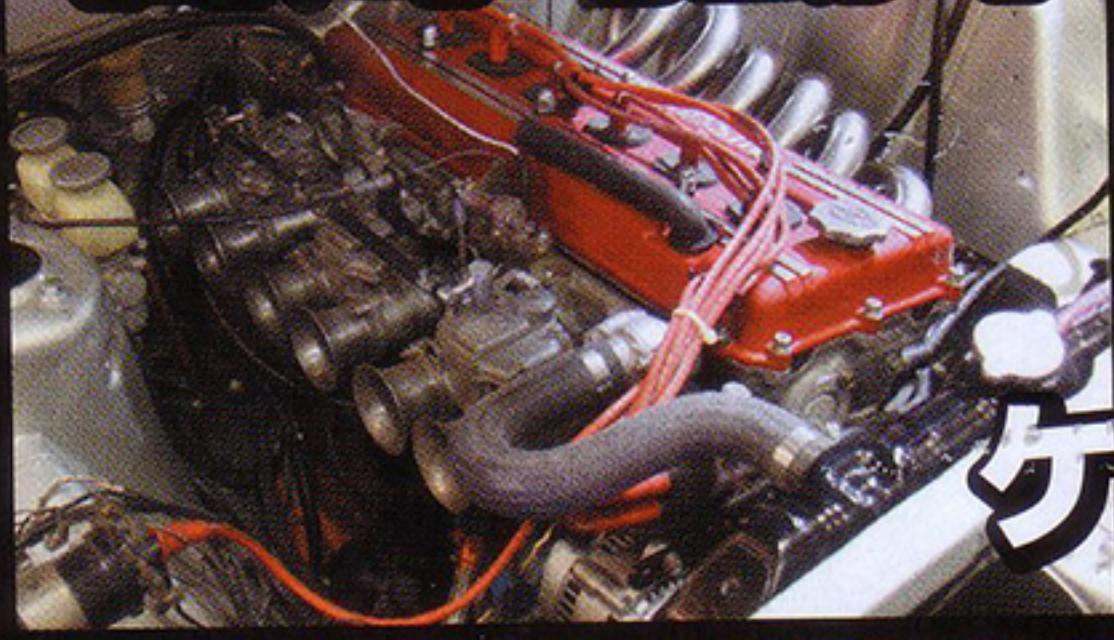


軽量なリストアード製カーボンボンネットを開けると、ガッシリと組まれた裏骨を見ようと人が集まる



「元が白だったから皆白いケンメリを想像してたみたいだけど、俺、白く塗るなんて言ってないだろ？これなかなかいいだろ？」

# 吉川時動車



鉄板おじさんこと吉川さんが、せっせと再生していたケンメリあ～るくんが遂に完成して、オートサロン会場でお目見え！ちゃんとS20が搭載されていたぞ

## ケンメリあ～るくん



トレードマークのタオルを頭に巻いて、テキパキとキャブをバラす吉川さん。4回の開催を全部見に来たツワモノもいてビックリ！

最終日の16日だけ即興イベント開催！アッという間にキャブがバラバラ！

「40周年記念展示会」  
分組ショウ

おおお  
完成したんだ！

1年以上連載でレストアの進行状況を報告していただきに、みな感動していましたぞ